

■第67回 河川レンジャー制度運営委員会（2022.11.8）議事録

◆出席：中谷委員、北井委員、平山委員、辻委員、矢野委員

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
1. 開会	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、ご多忙の中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。これより第67回河川レンジャー制度運営委員会を開会いたします。 ・私は、本日の司会進行を務めます委員会事務局の中西でございます。よろしくお願いいたします。 ・本日でございますが、委員総数5名全員に出席いただいておりますので、委員会規約第8条第2項によりまして委員会の成立を報告いたします。 ・次に、お手元の資料でございます。先日送らせてもらいましたが、配布資料は、議事次第、委員名簿。続いて、資料番号がついているものが資料-1から資料-4までの4種類、それから参考資料が全部で6種類となっております。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
2. 委員紹介	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、委員のご紹介をさせていただきます。お手元の委員名簿を御覧ください。今回、全員出席ということで、委員の方全員ご出席、それから河川レンジャーのお三方も全員出席でございます。事務局のほうも、このとおり、8名出席しております。この書面をもって皆様のご紹介に代えさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。 ・では、本日の議事でございますが、議事次第に戻りまして、議事は「報告」から「その他」までとなっております、2時半までお願いいたします。 ・本日、傍聴の皆様でございますが、今回お申し込みがございませんでしたので、傍聴はなしということでございます。 ・ご発言に当たりましての注意事項でございます。Zoomミーティングを用いての会議でございますので、ご発言まではマイクをミュートにさせていただいて、進行の中谷委員長のご指示をもってミュートを解除いただくというようなことをお願いしたいと思います。 ・それでは、進行を中谷委員長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、始めさせていただきます。

(1) 第66回河川レンジャー制度運営委員会の議事録について		<ul style="list-style-type: none"> ・皆様、ご出席いただきましてありがとうございます。今もお話がありましたとおり、議事次第に基づいて進めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。 ・では、まず報告事項。3つありまして、その1番目ですが、第66回の運営委員会の議事録について事務局から報告・説明をお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・資料－1が第66回河川レンジャー制度運営委員会の議事要旨でございます。本資料につきましては、事前に委員の皆様にご確認をいただいておりますので、詳細な説明は割愛させていただきたいと思っております。 ・結果としましては、委員長と副委員長を選出につきましては、中谷委員長、北井副委員長に今年も継続してお願いすることになりましたというご報告でございます。 ・それから、審議事項の2022年度の河川レンジャーの年間活動計画(案)というところでございますが、お三方とも計画を承認いただきましたということで、今日の中間報告でもそれぞれの指導・助言等に基づいた報告がなされると思っております。 ・その他としましては、年間のスケジュールやレンジャーレポートの配布について助言をいただきました。 ・以上でございます。よろしくお願いいたします。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・今もお話がありましたとおり、委員の皆様には一度お目通しをいただいているところでありますので、次へ進めさせていただきます。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (2) 事務局からの報告	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・2点目は「事務局からの報告」とあります。これは資料－2についてです。お願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、資料－2に基づきまして、6月28日の前回委員会以降、事務局のほうで支援してまいった事柄を中心にご報告させていただきます。 ・まず1つ目が、河川レンジャー勉強会の開催報告です。この会は8月2日に行ったんですけれども、新人の河川レンジャーの方を対象に、活動の充実化を図ることを目的に、今年度の活動計画に沿った形で勉強会を開催しております。 ・具体には、1ページ目の中段以降に掲載しておりますけれども、瀬田川での清掃活動を中心に活動されています福西レンジャーを対象に、特に気になると言われておりました、ちょうど琵琶湖と瀬田川の境にあります関西みらいローイングセンター(琵琶湖漕艇場)でのマナーの問題やごみの問題、どういったことがあるかというのを一緒にヒアリングに行

		<p>ってきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2ページ目が結果ということで、実情と課題を聞いてまいりました。今後の連携の可能性では、こちらで困っておられるようなマナーの問題の注意喚起ですとか、河川レンジャーがお手伝いできるようなことがあればということで確認をさせていただきましたけれども、トラブルになっていくのも施設管理者としては困るところもあるので敷地内での呼びかけは控えてもらえたらというようなこともお聞きできました。また一方で、瀬田川での清掃活動については周辺の中学校や活動団体に声かけをしてはどうかというようなアドバイスをいただいております。 ・さらに瀬田川を下りまして、ごみのほかに外来植物の問題も気になっているというレンジャーさんからのリクエストもあって、オオバナミズキンバイという水面を覆ってしまう蔓性の植物の実情を視察いたしました。過去から河川事務所さんが市民団体さんとともに駆除活動をされているという実態がございますので、そういった過去の事例を振り返りながら瀬田川を見て回りました。この問題に関しては、河川レンジャーの福西さんからも今後の活動の参考にしていきたいというような感想をいただいております。 ・2つ目の話題としまして、「河川レンジャー・レンジャートライアルの応募状況」ということで現在の応募状況についてご報告いたします。 ・まず河川レンジャーでございますが、今年2回目の委員会が開催されるまでの間、残念ながら、応募はございませんでした。 ・それから、レンジャートライアルということで募集しておるところでございますが、これにつきましては5月26日から10月25日の間に4名増えました。前回の委員会的时候には1名登録されたという報告でしたけれども、現在5名の方がトライアルに登録しているという状況になりました。いずれも大学生でございます。 ・具体には、次ページ以降の「レンジャートライアルの活動報告」にまとめておりますが、水上さんの5月21日の活動や6月25日の清掃活動、また10月に行われました野洲川の河川清掃に、10月に登録された2人を除いて、3名のトライアルの方に既に参加いただいております。参加するだけじゃなくて、運営の補助ですとか、住民に対するアンケートやヒアリング等の活動もトライしていただいております。また、それぞれ気づいた感想なんかも寄せていただいております。子供さんが夢中になっている姿ですとか、活動の意義的ところが参加してよくわかったというようなことを書いていただいております。 ・その他、7ページ以降、「河川レンジャー・レンジャートライアルの広報」ということでは、現在もチラシ等を配架させていただいたりしておりますが、支援室主催で7月30日にウォーターステーション内で住民
--	--	--

		<p>に対してのイベントを行いました。これは水辺の安全講座やEボートの乗船体験みたいなことをしたんですけれども、こういったところで河川レンジャーやトライアルの募集もしてますというのを併せて行わせていただいております。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後の8ページは、先ほども申しましたけれども、いろんな方面でチラシを配布しているということで、大学には継続して置いていますけれども、そのほかに大津市の公民館さんにも出かけて行って置いていただくようなことをしております。 以上になります。よろしくお願いします。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> 報告、ありがとうございました。 今ほど説明をいただいたんですけれども、委員の皆様から特にご質問とはないでしょうか。いかがですか。 平山委員、どうぞ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ご説明、ありがとうございました。 2点ありまして、1つ目は勉強会の1部なんですけれども、お伺いした限りでは福西レンジャーと支援室と一緒にヒアリングをしに行ったという印象を受けまして、これは勉強会なのでしょうか。福西レンジャーのレンジャー活動ではないかと思うんですけれども、どういう意味で勉強会だったのかというのを教えていただきたいです。 2点目は、レンジャーのトライアルに参加された方は、もちろん運営の面も見たとおっしゃっているんですけれども、イベントを実施するところをメインで見ているのであれば、「河川レンジャーというのはイベントをする人」というふうな印象を持たれていないかということを確認したいです。というのも、最後のレンジャートライアルの感想を見ると、河川の維持や保護、活用をするという人というふうな印象を持たれているので、いわゆる市民活動と河川レンジャーの違い（コーディネーター）というところをきちんとお伝えしているかということとトライアル参加者が把握されているかということをお伺いしたいです。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> では、事務局、お願いできますか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ご質問、ありがとうございます。 まず、1つ目の勉強会の件でございます。ローイングセンターにヒアリングに行ったところでは、福西レンジャーに事前に質問事項を考えていただいたり、今後の展開を考えていただいたりということで事務局とやりとりさせていただいて、意見交換といえますか、利用者のヒアリングについては、我々はサポート役に回りながら積極的に福西レンジャーから質問を投げかけていただくというような場づくりに心がけたところで勉強会かなというつもりでございました。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> 今後もそういうふうな認識で勉強会を開催していくということですか。

		今の説明をお伺いしても、福西レンジャーの活動に対する日常的な支援室の支援の範囲内かなというふうに思いました。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> • そうですね。1年目のレンジャーの方に対してということでは、活動の中で伴走支援しながら支援室でできるアドバイスをというような流れで企画したようなところもあります。 • これまでの勉強会は、まちづくりの講師をお呼びしたり、水辺体験のスキルをお持ちの方に講師になっていただいたりというようなことでスキルアップを目的に開催するのが通常なんですけど、今回は福西さんにとって今後活動が展開しやすいように、ある意味、支援室の支援という面もあるかもしれませんけれども、勉強会という位置づけで。 • ほかのレンジャーさんお二方にもお声はかけたんですけども、福西さんにターゲットを絞ったような活動でしたので今回参加いただいたのは福西さんお一人だったということでございます。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> • わかりました。 • 2点目はいかがですか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> • 2点目は、もちろん、河川レンジャーのイベントだけじゃなくて、その過程が非常に大事な活動でもあります。 • 実を申しますと、トライアルのお一方だけですけども、伐木の体験のときに高校への事前説明にも同行していただいて、こういう説明をした上でイベントがあるんですというようなこともわかっていただいたりもしました。 • あとは、今のところ、残念ながら、イベントのところだけの参加になっております。もちろんその説明としては、聞くとか話すとか、いろんな過程がありますというのは十分説明させていただいているつもりなんですけれども、また今後そういうレンジャーさんの活動のきっかけがありましたらお誘いしたいと思っております。
	平山	• わかりました。ありがとうございます。
	中谷	• では、ほかの委員さん、今の件に関して何かありましたら、次のパートでもまた関連するところもあろうかと思っておりますのでご指摘いただければと思います。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (3) 河川レンジャー中間活動報告	中谷	<ul style="list-style-type: none"> • では、レンジャーさんの中間活動報告に移らせていただきますので、よろしくをお願いします。 • 進め方等含めて、事務局からまず説明をお願いできますか。
	△中西	• では、続きまして、河川レンジャーの中間報告でございます。資料-3をご覧ください。また、それぞれのレンジャーの方から補足資料を準備

		<p>していただいておりますので、適宜前に映しながら進めさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この議事では、3人のレンジャーの方から年間活動計画に基づいた中間活動報告をされますので、委員の皆様にはご意見、ご助言をお願いしたいと思います。 ・これから各レンジャーさんに活動報告を10分間を目安に行っていただきます。9分で1鈴鳴らしまして、10分で2鈴鳴らします。その後、委員の皆様に質疑応答を10分程度行っていただきます。議事進行の関係から、活動報告及び質疑の時間が参りましたら今のような鈴を鳴らさせていただきますので、ご了承ください。 ・では、これより進行を中谷委員長をお願いしたいと思います。根木山レンジャー、水上レンジャー、福西レンジャーの順に進めさせていただきますと思います。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・今お話がありましたように、10分・10分というところをめどに進めていきたいと思います。 ・では、まず根木山さんからお願いできますか。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・改めまして根木山です。よろしくお願いいいたします。 ・今年度も引き続き「野洲川の川守りをつなぐ」というテーマで活動をさせていただきます。 ・具体的にこんな活動をしてきましたよということを最初にご報告させていただけたらと思います。 ・今年度も、昨年度までに引き続き、住民グループのなかす野洲川たんけん隊の活動を支援させていただいています。今年度は今までに5回活動を実施させていただいて、参加された住民が128名になっております。ただ、天候の関係で、8月、9月に例年実施されている野洲川川遊びオープンデイは2回とも中止になってしまったということで住民の方々も大変残念がっておられました。8月の活動は一般参加も含めて70人ぐらいの申し込みをいただいていたので、本当に残念だったなという感じがします。 ・また、守山市立中洲こども園の川遊び活動をサポートしていただきたいということで園長先生からご連絡をいただいて、昨年度に引き続き、支援をさせていただきました。今年度、園長先生が交代になっていまして、「全然わからないんです」と初めは連絡をいただいたんですけども、先生向けの講習会を実施して、さらに6月に、本当はこれも3回予定してんですけども、結局、雨で2回流れて、1回しか実施できませんでした。でも、1回実施することができて、保護者の方も見守りボランティアで8名来ていただきました。園長先生も初めは「去年やってたか

ら今年もやりましょう」という少し受け身な感じだったんですけれども、川遊びをやった1週間後ぐらいにアンケートを受け取りに行ったときには「子供たちの姿がすごく変わってよかったです」とうれしそうにおっしゃっていただいて、一緒にできてよかったなというのと、あと野洲川ファンがまた一人増えたなと思って喜んでおります。

- ちょっと委員の皆様へのご報告が遅れたとは思うんですけれども、ついせんだって、事務局のほうにこの間聞けている住民の声を提出させていただいてます。もしかしたらまだ手元に届いてないかもしれないですけれども、また事務局から委員の皆様にお届けいただけたらなと思っております。
- こんな形でなかす野洲川たんけん隊のほうは、さっきのところにも書いたんですけれども、今、15家族にご参加いただいています。今年は新しいご家族が6家族あって、皆さんそれぞれ口コミで参加してくださっています。割と保育士さんとか幼稚園の教諭をされている保護者の方が多くて、教育にすごく熱心な方が多いんですけれども、皆さん口コミで広げてくださって、活動後の声をいただいても子供の変化とか自然の豊かさまたいなことに改めて気づいていただけて、すごくうれしいなというふうに感じています。
- あと、川遊びだけではなくて、清掃活動とか地元が栽培している花壇の手入れなんかも活動前に30分ぐらい時間をとってご一緒いただいています。この間、水上レンジャーがされた清掃活動にも「参加しませんか」とご案内したら、皆さん気持ちよく参加してくださって、こういった声もいただいています。この声も支援室のほうにせんだってお送りしていますので、また委員の皆様にも見ていただけたらなと思っています。ごみ拾いなんかも、来る前は子供たちは「え〜っ」と言っていたけど、実際やってみたら楽しそうに宝探しみたいにやっていたよと保護者の方が教えてくださって、すごくいいなあというふうに思っています。
- そのほかの活動としては、「住民の声の聴取」ということで、今のところ、一緒に活動している方々の声は拾えているので、後半は地元で改めて入って声を聞くという活動をしたいなと思っています。
- 4番のかわまちづくりに向けても、この間、10月に地元の自治会長、学区長さんにお会いしたら、守山市のほうで新しいトイレとカヌーなんかを入れられる倉庫を今年度中に整備してくださる予定だというふうにおっしゃったので、来年度はまたそういったものも活用してさらに住民の活動が進められるのかなと思っています。その辺は、地元の声も聞きながら、市役所や琵琶湖河川事務所とも相談しながら進めていけたらなと思っています。
- 5番目のところで言うと、昨年度に引き続き、野洲小学校へ野洲川学習

		<p>の出前授業に行ってきました。水上レンジャーと支援室の2人にも来ていただいて、ちょうど昨日実施してきました。スライドを1枚だけ追加させていただいたんですけれども、こんな感じで昨日活動させていただきました。1・2時間目に2クラス、3・4時間目に2クラスということで4クラス分、合計120人とか、そのぐらいの生徒さんと一緒に野洲川について話し合い活動をしました。児童の声も今まとめてますので、また後日事務局のほうにお送りしたいと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大まかに言うと、やっぱり野洲川のことをよく知らない子供たちが多くて、今回の活動を通して野洲川についてたくさん知れたという声と、あと関心を持てたという声が多かったと思います。内容としては、「野洲川の改修には当時反対の声もあったんだけど、やってよかったのかな？ どう思う？」という話し合いをみんなでしました。その活動を通して、先生からも社会につながっている活動として学習ができてよかったということをおっしゃっていただけたので、よかったなと感じています。 ・成果のところの自己評価なんですけど、十分にできてないところもいろいろあるんですけれども、全体的にはB評価とさせていただきました。年度末の報告ではAにできるように後半頑張りたいなと思っています。 ・あと、課題としては、中洲だけじゃなくて上流側に上がっていきこうということもちょっと考えていますし、新しい河川レンジャーの候補を探していくということも計画に入れてますので、この後の河川事務所との意見交換会において上流部でやっている瀬・淵の再生事業の情報を改めて頂いて、野洲小学校ともご縁が少しずつ深まっていますので、また野洲エリアで瀬・淵再生に関係した活動ができたらいいのかなと。併せて、野洲とか栗東あたりの方でそういう活動に関心を持ってくれる人、河川レンジャーになってくれそうな人を探していくみたいなこともできたらいいなと思っています。 ・僕からの報告は以上になります。
中谷		<ul style="list-style-type: none"> ・根木山レンジャー、報告ありがとうございました。地元にもうまく根差して進めていただけてますね。 ・委員の皆様から質問、ご意見等ありましたら伺っていきます。どなたからでも結構ですので、どうぞご発言ください。 ・はい、辻委員、どうぞ。
辻		<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん、こんにちは。辻です。いつもありがとうございます。 ・根木山さん、報告ありがとうございました。根木山さんへの確認が1点と事務局への確認が1点、合計2点あります。ともに、根木山さんはいろいろ地元の声を聞いていただいているんですけれども、その声が今後どうつながるのかなということに関する質問です。 ・まず根木山さんへ。今も成果のところを見させていただきますと、「住民

		<p>の声の聴取」とか「かわまちづくりに向けた関係機関との連絡調整」を、いただけてますが、特に河川管理者に対して、もうちょっとこうしてほしいとか、そういう具体的な要望が何かあったのかというところをお聞きしたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つ目に、事務局への質問です。ちょうど今、県では令和5年に向けて予算編成の議論をしているところです。国の概算要求は、6月ぐらいに終わっているかと思うんですけども、さっき申し上げた、河川管理者に対してもうちょっとこうしてほしい、具体的には、工事でも維持管理でもいいんですけど、そういった要望があったときに、来年度の予算とか今後の予算につなげていく必要がある場面のあるとき、事務局と琵琶湖河川さんはどのような流れになっているのか、確認をしたいです。 ・以上2点、お願いいたします。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・僕の認識なんですけれども、ここ数年の流れとして、河川事務所と河川レンジャーとの意見交換会に守山市さんにも2年ぐらい入っていただいている中で、河川管理者と公園の占有者、あと私が聞いている住民の声なんかを伝えながらいろんな話をきて、昨年度は公園の使用ルールを占有者の方に変更していただきました。あるいは、地元と市役所の関係が強いとは思うんですけども、トイレが汚くてちょっと使いづらいという女性の声をお伝えしてたので今年度守山市のほうでトイレの整備をされたり、カヌーの利用があるということもお伝えしてたので農集排の小屋を倉庫にするみたいなことで変更になったりして、そういう意味でいうと、昨年度までのところで一定声を届けたことで、辻さんにおっしゃっていただいたような、行政施策にも生かされた部分があるのかなと感じています。今年度は直接そういう要望みたいなことは特段聞けてないんですけども、逆に「行政が応えてくれたことに対して住民がこんなふうに積極的に利用しているよ」という住民の活用具合みたいなことを行政にもフィードバックしていくという意味で声を聴取している感じかなと、そんな捉え方を今年度はしております。
	△松田	<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖河川事務所で保全対策官をします松田と申します。 ・事務局としては、住民の声を参考にさせていただきまして、全てを事業に取り込むということは難しいかと思っておりますので、その中から、事業担当や予算担当とも相談しながら、取り込めるものは取り込むと。全部が全部ではないんですけども、一つでもできるものがあればやっていきたいなと思ってございます。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。半年終わったということで、これから下半期の活動もまたよろしく申し上げます。

		<ul style="list-style-type: none"> ・多分、年度末にも今のような成果をまとめてくださると思いますし、その中で河川管理者にやってほしいことがまた出てくると思います。今、事務局からありましたように、令和5年の事業の中でやってもらえるものならいいですし、もうちょっと予算が要るのかなど、さっきの話のように占用許可のルールにも生かして行く必要があるのであれば、令和6年に向けてどうするのか、そういったところもまたみんなで考えながら協力させてもらえるかなと思いますので、引き続き活動をお願いしたいと思います。 ・発言は以上です。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・辻委員、ありがとうございました。 ・ほかの委員の皆さん、いかがでしょうか。はい、矢野委員、どうぞ。
	矢野	<ul style="list-style-type: none"> ・矢野でございます。いつもお世話になってます。根木山さん、いつもご苦労さまです。 ・根木山さんに対しては、ご報告ありがとうございました。今の話の中で、野洲川のファンが増えたということは私もまさしくそうだと思います。 ・先ほど辻委員から質問もありましたように、アンケート結果については、個人的には、このレンジャー活動というのは、河川管理者が表に出ていくよりは聞いていただいたものを我々がどう料理していくか、どう予算なり設備を整えていくか、さらに野洲川を好きになってもらうにはどうしたらいいかというのを考えるのが我々の知恵の出どころだと思っておりますので、そういった声を上げていただいて、我々がそこにどうつなげていくかというふうにしていきたいと思います。引き続きそういった声がありましたら、小さな声でも結構ですので、お教えいただければと思います。 ・以上です。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかの委員の皆さん、いかがでしょうか。はい、平山委員、どうぞ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ご発表、ありがとうございました。 ・今進んでいるところまでは地元を巻き込みながらすごくいい変化だなと思っているんですけども、参加していない住民の方や上流の人たちの声も集めていきたいとおっしゃったと思います。例えば関係機関やグループがあれば聞きに行きやすいと思いますが、個人で利用されている方や遊んでいる方についてはどういうふうに具体的に声を集めていこうと思っているのか、何かプランがあれば教えてください。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。難しいなあと思いながら。前、三井さんというレンジャーさんは河原を歩きながらぱっとお伺いするみたいなことをされてたので、本当に上流に行くのであれば、初めはそういうこともさせていただ

		<p>かないといけなくなるのかなという気はしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あと、前回の委員会でも住民の声の聴取の方法はどうしたらいいですかという話を委員の皆様とも意見交換させていただいたんですけども、事務局のほうにも声の聴取の仕方を勉強会でレクチャーしてほしいというお願いをさせていただいたので、多分、今年度後半のレンジャー勉強会でしていただけたと思います。そういう勉強会もさせていただきなから、今までつながりのない人たちにどう声を聞くのかというのをちょっと考えていきたいなと思っています。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・中洲学区では「お知り合いからお知り合いに」の様な広がり方がよくて、その一番初めが難しいのかなと思うと、これからされようとしていることがそういうことに当たるのかなと思ったのでお伺いしました。ありがとうございました。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、北井委員、どうぞ。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・私からはコメントになってしまうのですが、学校、保育園、幼稚園関係と、かなりいろんなところと連携して動いていらっしゃるって、先生の声の変化がうれしいですね。こういう反応でしたとか、こういう声が聞きましたというのを細かくまとめながら今日の報告にも入れていただいているので、成果がわかりやすかったです。一つの川遊び活動をするにも、準備とか、いろいろとノウハウが積み上がっているんだろうなと思いつつ伺ってました。 ・先生向けの講習というのがいい機会ですね。あちらでもできるようになられていくと、またいいのかなと思います。まあ、そのように狙ってやってくださっていると思うんですが。 ・以上です。よろしく願いいたします。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・先ほど根木山さんからA評価を目指してというところがあったんですけども、例えばあとの期間、具体的に——まあ、1つのことだけでもいいんですけども、先ほどの平山さんのお話ともかぶるんですが、具体的に例えばどういうことをしようみたいなのが今ありましたら教えていただければと思います。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・中洲は市役所のほうで整備が一段進むと思うので、それを踏まえて住民の方がもう一步「一緒にやろう」という感じになるといいなというのを期待しています。まあ、それは住民さん次第なので、僕の気持ちだけでは動かないのでわかりませんが。 ・上流側に関しては、今年度、事務所との意見交換会でも瀬・淵再生工事の環境調査みたいなのが一定進んでいるということも情報提供いただいているので、その辺はこの後の事務所との意見交換会でもう一步追加の

		<p>情報をいただいて、できればそこに上流側の活動を住民とつないで関わられるような形ができないかなと思っています。そこでそういうことに関心のある、河川レンジャーになってもいいよという人も見つけられると、上流側でも一つ活動の芽みたいなのができたりするのかなと思っています、そこに向かって冬場は取り組めたらいいなと思っています。</p>
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。その辺、よろしくお願いします。 ・では、続きまして、水上レンジャー、お願いできますか。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、説明させていただきます。 ・最初に、中間活動報告書のほうから説明していきます。 ・一番上の「背景と昨年度の課題」と「実施目的」のところは変えていません。 ・「今年度の成果目標とこれまでの達成度」ということで、今年度は昨年度に引き続き「住民主体の川づくり」を目指して企画の段階からいろいろやっていくということで、特に野洲川河川清掃の実施を念頭に置いてやっています。 ・先に右のほうの評価を説明させていただいて、実際なぜそう評価したかというのを後で説明させていただきます。 ・野洲川河川清掃は「住民主体の川づくり」を目指して進めてきました。特に地元の参加者を増やすということと住民主体の活動になるようにやってきて、そこはB評価にしています。それについての詳しいことは、後ほどパワポで説明させていただきます。 ・樹木再繁茂対策につきましては、前回の66回委員会のときに春に実施した幼木伐採については説明させていただいていますので、ここは省略します。評価はCとしています。 ・「住民の声（想い）を聴き、届ける」というところは、春の幼木伐採のときに住民の声を聞いています。10月に実施した野洲川河川清掃でも参加者のアンケートを行っていますが、今ヒアリングした結果を分析中で、来年の活動に向けて反映させる予定ですので、評価としてはCにしています。私のほうもそれがB評価にできるかどうか頑張っ、て、来年の計画を立てていきたいと思っています。 ・一番下の「これまでの活動の中で、自ら評価できる点などを記載して下さい。」というところについても、後ほどこういう形で評価できるようになったということはパワポで説明させていただきます。 ・ここからは野洲川河川清掃についてパワポの資料で説明させていただきます。 ・10月8日に行った令和4年度の野洲川河川清掃につきまして、住民主体の川づくりになるようにどういうことをしてきたかというのを詳しく説明させていただきます。

- ・まず、概要です。実施時期は10月8日（土）。参加者は、毎年同じですけれども、地元企業と自治会、地元住民、立命館守山中学校、行政（琵琶湖河川事務所と守山市）で、90名の方に参加いただいています。
- ・内容ですけれども、いつものように第1部と第2部をやりました。去年の反省点から、たくさん一気にやるのもあれですので、若干去年よりも種類は減らしています。
- ・第1部は河川清掃と幼木伐採ということで、範囲は毎年同じような形で天満大橋から稲荷大橋まで。去年は第1部で沢山の項目を実施し混乱したので、今回は河川清掃と幼木伐採を実施し、参加者の皆さんには河川清掃と幼木伐採に分かれて活動して頂きました。
- ・河川清掃のほうは、地元企業のレイマックさん。ちょうど今年で5年になるんですけれども、毎年来ていただいているので中心的に実施していただきました。あと、自治会と地元住民の方と行政（琵琶湖河川事務所と守山市）が連携して、できるだけ主体的にということで実施いただいています。
- ・幼木伐採のほうは、たしか最初の計画のときに平山委員から「なぜ幼木伐採をやるのかをみんな知らないが、大丈夫ですか」という話がありましたので、今年度は、幼木伐採をする前に、野洲川の水害から地域を守るための樹木再繁茂対策、その中の幼木伐採について説明をしています。例えば立命館守山中学校と高校は、幼木伐採の意義も含めて事前説明をしています。綾羽株式会社のほうは、現地で実際に幼木を見ていただいて事前に説明を行い、幼木伐採の意義を理解していただいて当日実施したという形です。
- ・第2部もいろいろやりました。第2部の目的は「野洲川に親しむイベント及び中洲親水公園の利用促進に向けた試行イベント」ということで、1つはEボート。これは支援室と連携しながらやりました。
- ・それから、下のほうに写真も載ってますけれども、楽しい工作教室ということで、綾羽株式会社さんには、幼木伐採のほか、その材料を使ってフクロウづくりをするという体験教室を綾羽理念の「地域主義」という研修の中に盛り込んで実施していただきました。野洲川親水公園の活性化の試行として主体的に実施していただきました。実は、このヨシ工作体験教室とフクロウづくりは、大津のウォーターステーション琵琶の付近で活動をされている住民団体の方を紹介させていただいて、綾羽さんと一緒にやっていただいたという形にしています。
- ・今年大きく変わったのは3番目の「リラクゼーション体験」。これは何かというと、地元住民と連携ということで、根木山さんから「こんなことをしたい人がおられるんですけど」という紹介をいただいたので、この中洲親水公園を地元の方に使ってもらえるような一つの取り組みとし

	<p>て無料でリラクゼーション体験をしていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あと、草サッカー。根木山さんと連携しながら、中洲親水公園の利用の促進に向けた活動として実施しました。 ・以上4つの項目をやりました。 ・それで、ここが一番大事なんです、昨年地元の人が少ないということでしたので地元住民の参加者を増やすための活動をしました。 ・まず、10月、11月は地元の行事が多いから重ならないようにしてくださいということをいろんな方から言われましたので、事前に、中洲会館とか自治会館とか、いろんなところに話を聞きに行き調整して、開催日時を10月8日に決定しました。 ・広報のほうは、右側にありますけれども、このような案内チラシやポスターをつくって、もりやまエコパーク、中洲会館、守山市民交流センター、守山市エルセンターへの配架とポスターの掲示。それから、下のほうに写真が載ってますけれども、中洲学区の自治会の掲示板(27か所)にポスターを掲示してもらって皆さんに広報しました。 ・その結果というか、その中で野洲川の清掃活動に参加していただいた感想も聞いています。先ほど根木山さんが紹介されたなかす野洲川たんけん隊の方の意見も聞いてますので、若干ダブっているところもあります。 ・まず、河川清掃と幼木伐採。ごみが例年より少なかったとか、子供たちは「えー！ごみ拾い」という感じだったのに、いざ始めると、楽しそうにごみ拾いをしてたと。それから、幼木伐採についても、木をふだん切らないのでよい体験ができた。ただ、ごみが少ないから、もう少し多いところでやったらどうかという貴重なご意見もいただいています。 ・第2部につきましては、「工作教室が面白かった。」とか「ワークショップなどの活動が印象に残った。」とか、先ほどの新しい試みのリラクゼーションについては「自然の中でマッサージしてもらうなんて初めてで最高でした。」と。あと「盛り沢山で楽しい時間でした！」と。 ・「その他」のところは今後のいい参考になると思うんですけれども、「広報を行いもっと人を増やすべき」というご意見もいただいています。これをどうするかについては後で説明させていただきます。それから、時間的には短すぎず、いいかなと。あと「天候に恵まれて、気持ちの良い活動になってよかった。」ということで、いつも雨が降るんですけれども、この日だけいい天気になりました。 ・先ほど話に出てきましたが、この活動に河川レンジャートライアルとして3名の方に来ていただきました。平山さんが言われるように、活動はプレーヤーになってはいけない、要するに、清掃活動に参加するんじゃなくて、河川レンジャーの「つなぐ」という活動あるいは「意見を聴く」という活動をしていただくということで、野洲川河川清掃に参加して住
--	---

		<p>民のいろんな意見をヒアリングしていただきまして、河川レンジャーの活動の一つを体験してもらっています。そこを補足説明させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後に、「今年度における今後の課題」です。 ・野洲川河川清掃では、ポスターなどをつくって、自治会とか、いろんなところに配布したんですけども、ほとんど来ていただけませんでした。住民の方が1家族、それから自治会長さんが2人。それがちょっと課題かなと思ってますので、今年度の後半は地域住民の参加を増やす検討を行って来年度以降の活動計画に反映させたいと。これはなかなか難しいんですけども、これをやりたいと思ってます。どういうふうにするかというのは今から考えていきます。 ・あと、今年度の活動で新たに組みんでいきたいことということで、河川レンジャーとして活動してきた経験を生かして、先ほどの河川レンジャートライアルとか、そういう人の支援を行うことも考えてます。 ・時間をオーバーしまして、すいません。以上です。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、水上さん、ありがとうございました。 ・では、今報告いただいた件に関しまして委員の皆様から質問、ご意見を伺います。どなたからでも結構です。どうぞご発言ください。 ・はい、北井委員、どうぞ。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・水上さん、ありがとうございました。 ・トライアルが3名来られていろいろ準備して下さったというのが中間報告で報告いただいた感想全般のヒアリングをしてくれたという感じがすかね。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。それにつきましては、先ほど説明させていただいた部分が大多数です。私は何をしていたかということ、それとは別に綾羽さんや中学生のほうに聞いているんですが、それはまとまっていないのでこれを使わせていただきました。すいません。そういうことです。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・いえ、感想をどうやってとられたのかなと思って。現地でアンケート用紙に書いてもらうというのは難しい環境のようにも思いましたので何か工夫をされてたのかを聞こうかと思ったら、トライアルの方がということだったので、それでちょっと確認をしました。 ・トライアルの方たちの反応で印象的なことは何かありましたでしょうか。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん一生懸命聞いていただいて、熱心にやっていただきました。私の感じとしてはトライアルから河川レンジャーになっていただける可能性が非常に高いと思うので、私の今後の活動にも入ってますけれども、ぜひお仲間を増やしていきたいと思っています。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな感想を把握できて、現地の様子というか、参加された方の反応

		<p>もよくわかりました。ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上です。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、平山委員、どうぞ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ご発表、ありがとうございました。 ・コメントのようなことなんですが、参加される方をもうちょっと増やしたい、地元の方にもうちょっと参加していただきたいので広報などを積極的にされているというお話があったと思います。ここからは皆さんと意見交換できればと思うんですけど、参加人数が増えれば増えるほどいい、そういうところを河川レンジャーのコーディネーター活動として目指すのかどうか、ついてはいろいろ議論があると思います。もちろん、たくさんいらっしゃると、その後、川づくりに関わってくださる方が見つかりやすいということはあるかもしれないんですけども、一方で、ただ一日だけ参加してくださる方がどれだけ増えても、その後、川づくりに関わったり、アイデアを出してくれる人が育たなければ地域の方での川づくりというのは難しいんじゃないかと思っています。もちろん、増やすということとコアに関わってくださる方を育てる、一緒に活動していくというところが両方できるといいんですけども、私は後者に重きを置いたほうがいいんじゃないかなと思うところがあって、水上さんはどういうふうにお考えかなと。また、水上さんだけではなく、ほかの方もどういうお考えかなというのを少し伺えればなと思いました。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・私も同じで、まさにそこを考えていたところなんです。数を増やせば増やすほど、本当の意見を聞くのがなかなか難しい。それで、私がやったのは、今現在、私のところでは地元の方が弱いから、地元の方をとりあえず増やすと。それも信頼関係で結ばれるような地元の方を増やしていきたいということで、例えば一つには動員をかけることはしません。それは信頼関係とは違いますので。それと、今回、地元の方を増やすために広く広報はしませんでした。あくまで地元の方。なおかつ、来ていただいた方に、1家族来ていただいたんですけども、「川づくり、どうですか？」とお話しをして、例えばイルミネーションみたいな活動がここでできたらいいとか、来年も来てもらえるようにそういう川に関するヒアリングを行いました。 ・結論としては、信頼関係でつなぐような活動をして、ただ増やすんじゃなくて、そういう意見を言ってもらえるような方を増やしていきたいと考えてます。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・もう一つ、それに関連して気になったのが、トライアルで関わってくださった方はもしかすると単発での関わりになるかもしれないんですけれ

		<p>ども、それもいいかなと思っています。入れ替わり立ち替わりでも若い人が継続的に現場にいるということで若い人くくりで、信頼関係とまではいかないですけども、「ああ、興味を持っている若い人がいるのね」というところをつないでいくという方法も現実的には必要なかなと思いました。大学生のように年限付きで滋賀にいる人もいるでしょうし、そのままレンジャーになることだけを目的にしている人ばかりではないと思うので、そういう関わり方もオーケーにしながら、広く緩やかに現場とつながれていくといいかなと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントです。以上です。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・まさに私もそのとおりに考えてます。トライアルの人が必ずしも河川レンジャーになるんじゃないかと、入れ替わり立ち替わりという言い方はあれですけども、若い人にも河川レンジャー活動を知っていただくということが大事だと思ってますので、まさにそのとおりでと思ってます。どうもありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、辻委員、どうぞ。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・発表、ありがとうございました。 ・水上さんにご意見をお伺いしたいです。今回、河川の維持管理に対して企業さんが2社、レイマックさんと綾羽さんが関わってくださっているということで、企業さんが河川の維持に関わってくださるというのはすごいいいなと思っております。この河川レンジャーは特に直轄河川区間での活動ですけども、県は指定区間の管理を担っていますので、直轄区間の活動を参考にさせてもらおうかなと思っております。 ・それで、今、直轄区間は、野洲川とか含め、滋賀県内65 kmの管理をいただいている一方で、滋賀県は一級河川2,250 kmを管理しています。管理延長が長いです。そういうところで、住民さんの参加に加え、こういった企業さんの参加もいただけるといいなあと思っております。特に、今回レイマックさんや綾羽さんが関わってくださっており、引き続き参加してくださると思うんですが、やる気といたしますか、どのようなインセンティブを持っておられるのか、その辺でお感じのところを教えてくださいなと思います。 ・以上です。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、レイマックさんと綾羽さんの切り口というか、取り組みはちょっと違うんですが、レイマックさんの場合は、もともと河川清掃をされていたので、先ほど言いましたけれども、信頼関係で結ばれるようなことを考えていました。例えばレイマックさんの活動に対して、要望ではないんですが、いろんなことをお聞きして、第2部のイベントでバーベキューをしたり、焼き芋をしたり、食のところでいろんなことをやりまし

		<p>た。そういうことをやって、もう5年たちますので、信頼関係がある程度できたという形になってます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾羽さんの場合はちょっと違って、前にもお話ししましたが、研修場所、フィールドを探しておられたんです。それで、単純に「場所はここですよ」じゃなくて、その研修のところに一緒に入って行って、もちろん河川レンジャーの立場としては控えないかんですが、私の活動のフィールドの中で一緒にできるようなところを提案もさせていただいて、担当の方とも信頼関係ができたかなと思っています。これで3年目になりましたけれども、来年もまたやろうということで、そういう形でやっています。 ・たしかに、辻さんが言われるように、企業をターゲットにして参加していただくということはたくさんの方が集まってくる。それは、信頼関係ができたことで人がたくさん集まる。これはやっぱり、変な言い方ですけど、このやり方がよかったんじゃないかと思っています。そのためには、メールで送るんじゃなくて、顔と顔を突き合わせてお話しさせていただく、それが一番大事なことだと思っています。行政ではなかなか難しいと思うんですが、経験からお話しさせていただきました。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・先ほど、滋賀県の管理区間は2, 250kmありますと言いましたけれども、そういったところに、住民さんだけではなくて、企業さんにも関わってもらえたらなと思っています。 ・今、水上さんからもありましたように、企業さんが参加してくださるのは、企業の研修の場にしたいという企業活動の一助になるのも一つでしょうし、もっと大きくは「社会に貢献する」みたいなところも多分企業さんは重きを置いておられるのではないかなと思っています。ですので、レイマックさんや綾羽さんの今後も続けてくださるという考え方を水上さんを通じて聞かせていただいて、滋賀県の河川管理にも何かつながるようなヒントが見つけれたらいいなと思っています。そういった観点でお気づきの点があれば、またレポートをいただければうれしいです。 ・以上です。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・そしたら、ほかにもあろうかと思いますが、時間のこともありますので、福西レンジャー、お願いできますか。
	R福西	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくお願ひします。それでは、始めさせていただきます。中間活動報告書を用いて説明させていただきます。 ・「背景と昨年度の課題」「実施目的」については特に変わりがないので飛

ばしまして、「今年度の成果目標とこれまでの達成度」についてお話しさせていただきますと思います。

- ・こちらはC評価にさせていただいております。
- ・活動中、瀬田川を利用している地域住民の方に声かけをさせていただいて交流を図りました。事前にいただいた名刺100枚は配布済みとなつてまして、追加で注文させていただき、今日受け取りました。
- ・釣り人に対してライフジャケット着用の必要性について活動中説明できなかったということでC評価にさせてもらっているんですけども、理由としましては、釣りは個人で行うことが多く、釣りに集中していることが多いので、声かけするタイミングがとれないというか、難しい状況もありました。さらにそれで「ライフジャケットをつけてませんよね」という声かけはちょっと難しい状況もありまして、説明が十分にできなかったという現状がありました。
- ・河川レンジャー活動とは別途取り組んでいる個人の活動で10月16日に琵琶湖本湖のほうで清掃活動を行わせていただいたんですけども、そのときに水産省のライフジャケット着用啓発ステッカーを持参していた大学生の参加者がおられました。猫のイラストがとてもかわいらしく、誰にでも親しみを持てるようなステッカーでしたので、自身の瀬田川での活動を大学生の方に伝えさせていただいて、啓発ステッカーを100枚ほどいただけないかと依頼したんですけども、このステッカーは淡海を守る釣り人の会と水産省とのコラボステッカー、共同ステッカーだそうで、お渡しできないという返事を先日いただきました。そういうステッカーを用いて関わりを持っていきたいので、今後、ライフジャケット啓発ステッカーを自分自身でオリジナルで作成して、釣り場で会った釣り人にライフジャケット着用啓発の話題に使用していきたいなと今のところ考えております。
- ・次に、6月20日（月）に「応急手当と水難事故発見時の対応」ということで、参加者10名で、ウォーターステーション琵琶で座学とAED使用についての実技の2部構成で行わせていただきました。次回は12月11日（日）、13名の方の参加が決定しておりまして、来月また活動をさせていただきます。
- ・2番目、「景観保全やマナー面から見た課題の把握」ということで、こちらは、地域住民と清掃活動未実施のため、D評価とさせていただいております。理由としましては、来年1月中旬に河川愛護モニターの永田秀夫様とともに瀬田川の東岸で清掃活動を実施する予定を挙げていまして、今、話を進めています。瀬田川西岸利用のほうは、美化意識が高く、ウォーキングをされている住民や清掃活動を個人でされている方も多く、ごみが少ない現状がありましたので、場所を瀬田川東岸で設定させていただ

	<p>きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それから、瀬田川への思いや課題についての質問調査を、以前の委員会で意見をいただいていたので、適宜メモに残して記録させていただきました。 ・あと、個人の活動で別途取り組んでいた10月16日の琵琶湖本湖の清掃活動で、大津市環境政策課とごみの処理方法などに関わるきっかけができました。それに伴い、北部クリーンセンターとのつながりもでき、回収していただくということもできました。その琵琶湖本湖の清掃活動の参加者は70名で、次回、来年行う瀬田川河川清掃の参加につなげることができまして、50名から60名の参加者が決まっているという状況です。 ・あと、駐車禁止区域に駐車している釣り人がいらっしゃって、釣り人同士ということでコミュニケーションをとりながら説明して、駐車禁止区域ということをご承諾していただいてトラブルなく移動してもらうこともできたので、引き続きそういう場面を見かけたら同じような関わり方で行っていききたいと思います。 ・次に「活動対象に対する関係づくりの途中経過」といたしまして、①のところの「10月16日の清掃活動の参加者で瀬田川の地域住民と繋がる事が出来た」というのは、愛護モニターの永田様とつながることができたということで書かせていただきました。 ・2番目、「釣り利用者」につきましては、先ほども言わせていただきましたが、自身の清掃活動に70名参加していただきまして、50名～60名の釣り人に瀬田川で行う清掃活動についての理解を得られましたということです。 ・「今年度における今後の課題」といたしまして、瀬田川の利用者は美化意識が高く、生活ごみが少ない状況です。しかし、活動した日から3日経過して再度活動をしていく中で生活ごみや釣りごみが放棄されている現状もありましたので、引き続き清掃活動を後期も行っていきたいと思っております。 ・活動をしていく中で南郷洗堰から鹿跳橋の間にかけて多くのごみが散乱しているのも見られるため、今後、清掃活動を検討していきたいと思っております。 ・「活動工程に関するふり返り」については、当初、瀬田川の清掃活動行事を10月に予定していたんですが、自身の予定が10月に集中しておりましたので1月に変更させていただいております。今日の発表を受けて、来年1月、自身も瀬田川清掃を行うので、水上レンジャーの広報活動などを参考にして今後も行っていきたいと思っております。 ・僕からは以上です。
--	---

	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福西さん、ありがとうございました。 ・ では、委員の皆様から質問、ご意見等お伺いいたします。どなたからでも結構です。どうぞご発言ください。そしたら、中谷から。 ・ 奈良から来ていただいて、熱心に取り組んでいただきまして、ありがとうございます。 ・ ちょっと先の話ですが、1月に50人～60人の活動というお話をいただいたんですけども、その仕組みとといいますか、「具体的にどういつてで、どうなって、どういうプロセスで」みたいなことを教えていただけないでしょうか。
	R 福西	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問、ありがとうございます。 ・ 永田秀夫様は淡海を守る釣り人の会（釣り人による清掃活動）の方で、琵琶湖本湖で清掃活動を行わせていただいたときに物品の貸出しなどを協力していただいたという経緯もありまして今回つながることができました。もともと永田様は河川愛護モニターで瀬田川東岸をメインにいつも清掃活動をされていて、お話を聞く中で西岸よりも東岸にごみが多いということで、そういう会話から「ぜひ一緒にやっけていきませんか」というお話をさせていただいたら「喜んで一緒にしていきたいです」という返事を得られたので、東岸のほうで清掃活動をさせていただく予定です。 ・ 場所などについてはまだ話している途中で、今後決まっていく予定なんですけれども、決まり次第、募集もかけていきたいと思います。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。そういうつながりは大事ですし、またそういうところがうまくほかにも広がっていくといいなと思います。 ・ 今も報告にありましたように、例えば駐車の問題ですとか、そこら辺はなかなか微妙な部分もあると思うので、接触していただく際には気をつけながらお願いできればと思います。 ・ ほかにいかがでしょうか。はい、辻委員、どうぞ。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表、ありがとうございました。お礼1点と確認が1点です。 ・ まずお礼です。先ほど中谷委員長からもありましたように、駐車禁止のところに止めている方に声をかけて仲介をしてくれはったということ、ありがとうございます。県も河川管理をしているときにこういった違法駐車の人にはすごい気を遣いながら声をかけるんですけども、特に事故性のことはなかったですね。
	R 福西	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい、大丈夫でした。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど中谷さんがおっしゃったように微妙なところかと思いますが、引き続き、雰囲気を見ながら活動いただければと思います。ありがとうございます。 ・ もう一点確認したいのが、去年レンジャーに応募してくださったとき、

		<p>医療関係にお勤めで、医療の関係とつなげたらなというところがすごい印象深く思っております。今日のレポートの16ページにも6月に応急手当と水難事故発見時の対応の勉強会をしたと書いてあるので、この辺でお感じになったところをコメントいただければと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上です。
	R福西	<ul style="list-style-type: none"> ・質問、ありがとうございます。 ・水難事故発見時の対応については、共同で講師をしていただいた上平氏にお話をしていただいたんですけども、発見した後の救急搬送のやり方など、119番した後どうするのかというつなぎの面では確かに医療従事者である僕がよく知っているところなので、そういうところも12月の勉強会では追加して深く掘っていきたいなと思っています。 ・本来であれば、上平氏のほかに消防隊の方も講師として呼びたいところなんですけれども、今はコロナの影響で消防隊の方が忙し過ぎてそういう講習会の参加は見合わせているという話も聞いていますので、コロナが少し落ち着いて余裕が出てきたときに消防隊の方に来ていただいてお話を聞ければなというふうなことは感じております。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。特に水難事故ということで、実は今年の夏も、愛知川という川が東近江に流れているんですが、そこで急激な水位上昇があり、避難し遅れたりとか、いまだ2人の方が行方不明になっておられるとか、水難事故が多く発生しました。水難事故が多い中、ご紹介いただいた応急手当と水難事故発見時の対応の講習をしていただくことで緊急の対応ができたらいいなあとつくづく思ったところです。引き続き、こういった対応の研修会を盛り上げてもらえたらなと思います。 ・以上です。ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・ほかにいかがでしょうか。時間のこともありますので、申し訳ないですけども、レンジャーさんからの中間報告は一旦ここまでとさせていただいて、また追加で何かありましたら、支援室宛てにメールなりの方法で指摘等いただければありがたいなと思います。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
4. その他 (1)2022年度の年間スケジュール	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、事務局、傍聴者はいらっしゃらないと聞いていますので、「その他」の年間スケジュールとレポートについて、2点続けて一緒にお願ひできますか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・年間スケジュールということで今後の予定でございますが、資料-4に掲載しております。 ・今年度ももう下半期に入っておりますけれども、11月としましては今

		<p>回の67回の委員会でございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月には、第2回の河川レンジャーの勉強会を予定しております。先ほども少し出てきておりましたけれども、新しい地域に入って行く際の住民意見の聴取方法やヒアリング、そういったところの勉強会を今考えております。講師も決まっております、関西総合研究所の久保田講師にお越しただいての講習会を考えております。 ・それから、河川レンジャーの皆さんと河川事務所の皆さんとの意見交換会を予定しております。12月13日に日が決まりまして、それに向けて今調整中でございます。 ・この後、河川レンジャーレポートを発行した状況もお伝えしたいと思いますが、今後、12月、3月をめどに河川レンジャーレポートも発行したいと考えております。 ・あと、2月の末から3月初めにかけて第68回の制度運営委員会を予定したいと考えております。皆様、またよろしく願いいたします。 ・今後のスケジュールとしましては以上でございます
--	--	--

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
4. その他 (2) 河川レンジャーレポートvol.47発行について	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、参考資料-2でございます。この河川レンジャーレポートは委員の皆様方のお手元にも送らせてもらったと思っておりますけれども、今年8月に発行してございます。根木山河川レンジャーの活動レポートが内容の中心になっておりまして、このたび、レンジャーお三方の似顔絵をリニューアルさせていただきました。 ・根木山さんのほうは、先ほどの報告にもあった「川守りをつなぐ」ということで、Eボートやヨシ刈りの体験を中心に、ヨシを利用したちまきづくりの文化も学ぶという活動をされております。また、中洲こども園の職員の皆様と子供たちに体験活動をなさったということも報告しております。 ・裏面は水上レンジャーと福西レンジャーの活動ということで、水上レンジャーのほうは幼木伐採の活動を中心に書かせていただきました。福西レンジャーのほうは、先ほどの報告にもありました「応急手当と水難事故時の対応」ということで6月に開催された状況を書いてございます。 ・以上になります。ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・説明、ありがとうございます。今ほどの件に関して、委員さんから質問等ございませんか。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと確認したいんですけども、年間スケジュールで5月から8月までレンジャーミーティングがないというのは、今年が結果的にそうだったのか、もともとそういう予定だったのか、どちらですか。

	中谷	・事務局、お願いできますか。前の資料ではどうでしたかね。
	△中西	・前の資料もこのようになったままでございましたが、個別で活動の様子は伺っておりまして、ミーティングと名前をつけてまでの集まりまではしておりませんでした。
	平山	・わかりました。ちょっと気になったのが、例えば4月から新しいレンジャーが増えますよとなったときに、もう少し密にミーティングをしたり、ほかのレンジャーさんと会うという機会が大事かなと思いましたが、メンバーそれぞれの活動の進行具合に応じてミーティングを設定いただくのがいいかなと思いました。 ・以上です。
	△中西	・ありがとうございます。
	中谷	・ご指摘、ありがとうございます。当然、今のお話のとおり、レンジャーさんのメンバーが替わったりとか、そういうポイントポイントに応じて、その辺も踏まえましてよろしくお願ひしたいと思ひます。 ・一応予定のところは終わりましたのでこれまでとさせていただきますが、委員の皆様から特にご指摘等ございませんか。 ・今の予定にありましたように、皆さんお忙しい時期にも入りますので、次の運営委員会の予定もうまく日程調整いただきたいと思ひます。 ・委員の皆さん、ほかに何かよろしいですか。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
5. 閉会	中谷	・では、ないようですので、ここまでとさせていただきます。
	△中西	・わかりました。では、これで第67回の委員会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。